

## 令和3年度尾張旭市一般会計補正予算（第1号）

### 討論要旨 山下幹雄議員

本案は、8億6,000万円超の追加予算になります。歳入では国庫負担金、補助金のみでなく3,500万円基金繰入れを実施し、積極的な新型コロナウイルス対策が見てとれます。また、必要性に迫られていながら当初予算で織り込めなかった各種事業にも算入できたことは、総合的な事業推進において評価します。

委員会審査に先立った議案質疑で、市民祭等イベントに関する新型コロナ対策分計上に関連してお尋ねをいたしました。入退場用の検温器、テント、手洗い場の増設分の借り上げ、看板の制作設置費との説明がありました。年度内における同種イベント事業、他の所管事業にも対応できることを考えると、備品導入も選択肢にあると考えます。借り上げとした場合にも、スケールメリットを生かし、横断的対応にて透明性・合理性を視野に、効率的契約を進めてください。

また、市観光促進事業、店舗等応援情報誌製作委託料について、令和2年度事業成果を含みお尋ねしました。事業者間格差を生み出さないよう、参加事業者以外にも目配りをして、効果的で市民にも価値が感じられる内容となるよう、期待しております。

あさび一号無料利用券については、多くの市民より御意見・御要望をいただいています。答弁では、本予算内では予定していないということでしたが、福祉施策、交通移動援助、買い物支援、経済施策につながり、街中を活性化させる企画であると考えます。令和2年度の無料チケットの成果額は約165万円、実績でしたら反復実施により認知度は高まり、本市行政のコロナ対策が市民に対し明確に示すことができるのではないのでしょうか。事業部署間の、各事業課間の垣根を取り除き、オール尾張旭の企画に盛り込んでいただけることを願い、また市民の声が届くことを期待し、期待値の賛成討論とさせていただきます。